

静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程入学試験
【がん放射線療法看護分野】筆記試験 過去問題

問題 1 次の問題の文章を読み、適切な答えを 1 つ選びなさい。

【問 1】第 4 期がん対策推進基本計画の全体目標の下に定められた分野別目標として、誤っているのはどれか。

- ① 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- ② 治療の初期段階からの緩和ケアの実施
- ③ 患者本位で持続可能ながん医療の提供
- ④ がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

【問 2】がん治療と関連性の低い症状の組み合わせはどれか。

- ① 手術 ————— 深部静脈血栓症
- ② 放射線療法 ————— 倦怠感
- ③ 分子標的薬 ————— 間質性肺炎
- ④ 細胞障害性抗がん薬 — ざ瘡様皮疹

【問 3】がん細胞の特徴として、誤っているのはどれか。

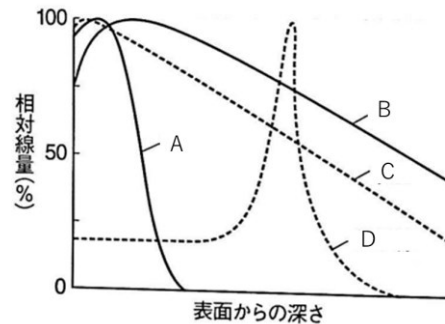
- ① 無秩序な増殖
- ② アポトーシスの増加
- ③ 腫瘍血管の形成
- ④ 他臓器への浸潤・転移

【問 4】化学療法剤の毒性とその対策について、誤っているのはどれか。

- ① 皮膚障害を予防するため、フルオロウラシル急速静注時は、クライオセラピーによる冷却を行う。
- ② 発熱性好中球減少症 (FN) の 1 次予防は、顆粒球コロニー刺激因子 (G-CSF) が有用である。
- ③ 肺毒性が疑われた時はステロイド投与が必要である。
- ④ 高度催吐性リスクの場合は、予防内服としてアプレピタント・セロトニン受容体拮抗薬・デキサメタゾンを併用する。

【問 5】図は深部線量曲線を示している。 γ 線の深部線量曲線を示すものとして、正しいのはどれか。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D



【問 6】小児の放射線療法について、正しいものには○を、誤りには×を記載しなさい。

放射線療法を受ける小児患者の有害事象は被曝年齢に依存する。

【問 7】放射線による晩期反応について、誤っているのはどれか。

- ① 不可逆的な変化である。
- ② 放射線による炎症からの創傷治癒過程である。
- ③ 血管閉塞は照射から 1 年以降 3 年未満に出現する。
- ④ 組織の線維化は照射から 3 年後に出現する。

【問 8】外部被ばく・内部被ばくについて、正しい組み合わせはどれか。

- a 鉛エプロンの遮蔽効果は線源のエネルギーに影響される。
- b 外部被ばくでは周囲の人・環境に対する 2 次被ばくの管理が必要である。
- c 放射性物質の汚染拡大を防ぐために汚染が予測される範囲の洗浄を徹底する。
- d 内部被ばくの時間は放射性物質の生物学的半減期に依存する。

- ① a、b ② a、d ③ b、c ④ c、d

【問 9】オレムの看護論にあるセルフケア能力について、誤っているのはどれか。

- ① 複合的で後天的な能力である。
- ② 成人期以降は不変である。
- ③ 記憶力は基本的な能力に含まれる。
- ④ 健康状態によって変化する。

問題2 次の事例を読み、問10に対する適切な答えを1つ選びなさい。

＜事例＞

A氏 35歳 女性。子宮頸がんⅡB期の診断を受け、化学放射線療法（週1回のシスプラチン併用）、外部照射は50Gy/25回、子宮腔内照射4回の治療方針となった。本日、夫とともに放射線治療科外来を受診し、2週間後から治療開始の予定となる。医師からの説明中、A氏は流涙し、うつむいたままであった。1週間前にがんの告知を受け、がん告知への衝撃と治療への不安があるとのことであった。医師の説明後、放射線治療室看護師から治療前オリエンテーションを実施する予定である。

【問10】放射線療法中のA氏に最も必要性が低いと考えられる看護ケアはどれか。

- ① 下痢のケア
- ② 悪心・嘔吐のケア
- ③ 骨髄抑制のケア
- ④ 下肢のリンパ浮腫のケア